

令和4年1月17日

学生の皆さんへ

日本医療科学大学

学長 新藤博明

新年を迎え後期も後半戦、私から学生の皆さんにメッセージを送りたいと思います。本学は、昨年度来、対面授業の比率を少しずつ増やしなが、ハイブリッド授業を提供してきました。昨年末までは、学生の感染者のゼロの週が数週間も続きました。第5波が収束に向かう中で感染の拡大は収まりつつあると思われた方も多かつたのではないのでしょうか。年末は経済が少し回復傾向にある中、忘年会や帰省された方もいたことと思います。これはひとえに本学の学生の皆さんが、新型コロナウイルスに対する危機感を持ち、感染予防を着実に実行してくれたおかげだと思ひます。皆さんのご協力に感謝しています。

しかし乍ら、令和4年を迎え、今度は感染力の極めて高い、オミクロン株が日増しに急増しています。埼玉県においても年明け早々に10名程度だった感染者が、15日現在で何と千人を超えるというこれまでに経験したことない速さで拡大し続けています。

これまでのデルタ株と異なり、オミクロン株は皆さんのような若い層に広がりを見せ、本学も例外ではなく、ここ最近濃厚接触者が散見され、ついに再び感染者が出ました。このオミクロン株は自覚症状が無く感染しているケースが顕著となっています。国家試験を間近に控える4年生は言うまでもなく、定期試験の最中である1～3年生の皆さんにも悪影響を及ぼします。

このような状況の中、昨日 NIMS アラートのレベルを引き上げ再び「警戒」といたしました。内容は既にポータルで公開していますので必ず確認してください。今後も、学生の皆さん一人ひとりが感染予防の意識を高く持ち、予防のための行動を続けてください。コロナウイルスには特効薬はありません。これまでお願いしてきた手洗い・マスク・三密回避とこまめな換気等の基本動作を徹底してください。

新年を迎え、皆さんが元気に学修を始め、4年生は無事に卒業ならびに国家試験に合格し社会に羽ばたいていくことと、1～3年生については無事に今年度の学修を修了してくれることを心から願っています。

以上